

笑 顔

☆まあいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 73 号

2019(平成31)年1月31日発行

発行者 松田 淳二

基本の基

1月27日(日)に三田市のけやき台中学校で野球部の顧問の指導者講習会がありました。そこでは、元熊谷組野球部監督の清水隆一さんが講師としていられていました。実技指導とコーチング論についての講話の2部構成で行われました。午前中の講習会だったのですが、あっという間に過ぎ、実りの大きい時間になりました。そこから今のみんなに伝えたいことを今回の通信で書きたいと思います。それは、基本の基(もと)です。野球には、捕ること、投げること、打つことが必要でその基本の基(もと)を正しく知ることが大切だということでした。それを身につけることができれば、あとは個人の力で工夫をしながら自分の目標達成に向けて、**何をどのようにしていくのか**を定め、失敗や成功を繰り返しながら行動していくことが大切だと話されていました。要するに、指導者が伝えることは、木に例えると幹に当たる部分のことを伝え、そこから様々な方法で個人が枝葉を伸ばしていけばいいというものでした。なるほどと納得しながら聞いていました。基本の基(もと)を伝えずに、こちらのやり方だけを伝えてもダメだし、何も伝えずにさあやってみると言っても伸びない。理にかなった方法だと感じました。

では、今のみんなには何が必要なのか、みんなにこの話をどう返していくと分かりやすいのかを考えました。それは、4月の学級開きに伝えた相田さんの詩です。「あのねえ 自分に エンジンを かけるのは 自分自身だからね」という詩です。清水さんが言われていたのは、「**他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる**」ということでした。同じことだと思いませんか。要するに、やるのは自分であるということです。中学校生活の3年間で必要な基本の基(もと)はある程度伝わっていると思います。**そこに枝を張り、葉を茂らせて、どんどん大きくしていくのは自分**なのです。今、みんなは進路実現に向けて心を一つにして取り組んでいます。それは、みんなの進路の実現でもあるし、自分自身の進路の実現でもあります。そこに向けて、今までやってきた幹の部分に様々な枝葉をつけて挑んでほしいです。1人ひとりの意識が高くなり、集中するときのモードはとても素晴らしいです。多くの課題や面接練習にも真剣に臨み努力をしています。本当に素晴らしいです。**苦手なことにも何度も挑み、力をつけている人、しんどいことを毎日続けながら挑んでいる人がクラスにはたくさんいます。**その雰囲気継続させながら基本の基(もと)を大事にして、これからの生活をしていこう。今が本当に大切な時期です。そのような時期だからこそ、**今までの生活習慣やリズムを大切に**してほしい。今まで培ってきた力を持っているのだからそれを信じてほしい。そして、それを出すのは自分です。**自分自身に芯(心)を入れながら42人で42人らしいエンジンをかけていこう。**みんなならできる。

